

令和6年度山形大学入学選抜試験【解答例】	
後期日程	総合問題
地域教育文化学部	地域教育文化学科 児童教育コース

令和6年度 地域教育文化学部 児童教育コース 総合問題

後期第1問

問1 30%

問2

天秤の両端にそれぞれ王冠と純金をつるして王冠と純金を水の中に浸けたとき、天秤が傾いたら不正であることがわかる。(55字)

後期第2問

問1

実際には大人も子どももできないにも関わらず、みんなと仲良くすることを理想として押しつけること。(47字)

問2

筆者は好き嫌いの感情をなくすことはできないので、ワタルがシンジのことが嫌いという感情を認めて、ワタルと距離を置いて当たり障りなく付き合えばよいと考えている。しかし、私はワタルが他人との衝突を避けたいと思っていること、シンジは自分の意見を持ってハッキリ主張して欲しいと思っていること、それぞれの考え方により点があることを理解し合うために、きちんと話し合った方がよいと考える。好き嫌いの感情は一時的なものなので、互いに考えていることを理解し、違いを認め合うことができれば、シンジのことが嫌いという感情は変わっていく可能性がある。その方がサッカー部の部員同士の結束も強くなり、楽しく部活の練習をすることができるはずである。

だから、私はワタルに対して、「他人との衝突を避けたいと思う気持ちはわかるし、よい面もあるけれども、意見が食い違っているときに感情的に衝突したり、相手を避けたりする前に、相手の意見や気持ちを聞いた上で、自分が思っていることを素直に相手に伝えた方がよい」とアドバイスする。そして、ワタル自身が直接シンジに話しにくいと思っているのであれば、先に私からワタルの気持ちをシンジに伝えて、話し合いの場を作る提案をする。(511字)